



千葉県の影響額 (県資料)			
品目名	生産額(H20) 億円	減少率	減少額 億円
コメ	774	93.9%	727
豆類	87	39.1%	34
乳用牛	259	100%	259
牛肉	48	83.3%	40
豚肉	367	70%	257
その他(いも・野菜・果実・鶏肉・他)を含めたH20年度の合計生産額	4,216 億円		

佐倉市の影響額 (市資料)			
品目名	生産額(H20) 億円	減少率	減少額 億円
コメ	15.9	90%	14.3
落花生	5.1	40%	2.04
乳用牛	2.4	56%	1.34
牛肉	2.4	75%	1.8
豚肉	1.2	70%	0.84
上記5品目以外は試算なし			
上記生産額合計27億円に対し 減少額 約20億円			

佐倉市内農業の主要五品目の生産総額約二十七億円がたった七億円に減少!



## 子どもたちに笑顔を



**学童保育に常勤の指導員を!**

■ 今後ますます需要の増加が見込まれる学童保育です。少子化による生活の場所として、質の配慮が必要です。

「学童保育所には常勤の選任指導員を配置することが必要」と、県のガイドラインに示されています。

「学童保育所には常勤の選任指導員を配置することが必要」と、県のガイドラインに示されています。

十二小学校区に設置され、利用する児童は千人を超えた。

今後の整備には、子ども達の生活の場所として、質の配慮が必要です。

**保育園の増設待つたなし!**

■ 働く親と子どもにとって「保育園に入れないと」状況は深刻です。現在、定員1552人に対し、1741人を受け入れる詰め込みの保育環境が長く継続され、子どもへの影響が心配です。

■ 公立も私立も、今地域にある保育所を守り、さらに保育所を増やして「安心の子育てを実現すること」が市の役割ではないでしょうか。

■ 今後ますます需要の増加が見込まれる学童保育です。少子化によって生じた学校の余裕教室を有効利用して急速に増設整備を進め、和田小学校区以外の二十二小学校区に設置され、利用する児童は千人を超えた。

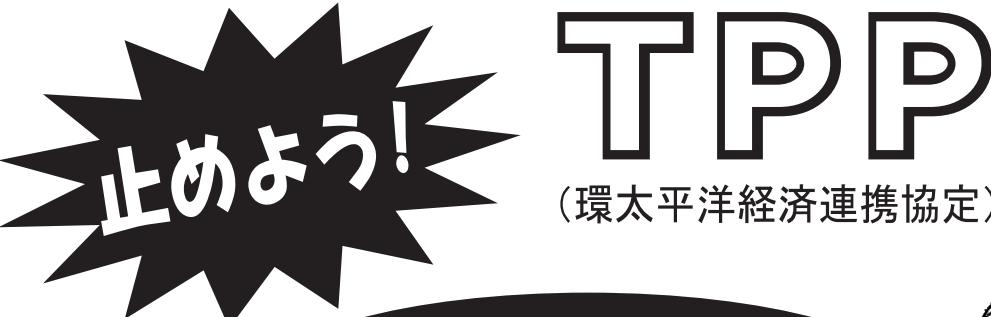
**最低基準を守らせよう**

■ 日本共産党市議団は「子ども・子育て新システム案」の撤回を求める意見書を提出しましたが、不採択となりました。保育の必要量を行政が認定し、契約は自己責任にする制度を認める訳にはいきません。

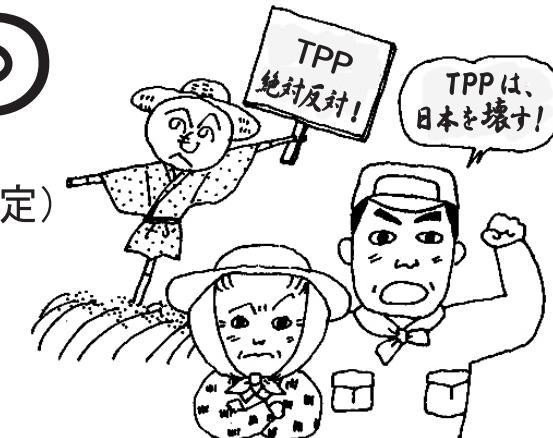
・子育て新システム案は経済成長戦略の中に位置づけられ、保育を営利目的に開放するものです。「保育の公的責任」「最低基準」「応能負担」という福祉の必要条件を取り払い、子どもたちの発達保障や権利とはまったく無縁の内容になります。

親と保育園との直接契約によりることで、選択の幅が広がるのはお金のある人だけになります。

## 佐倉の農業と地域経済発展のために



(環太平洋経済連携協定)



消費者として  
食の安全はどうなるのか

外国から輸入される農作物はどんな農薬が使われているか不明、さらに空港で殺虫剤まみれにする場合もある。安全なもの、新鮮なものを食べたいと願うのはみんな同じです。危ない農作物がどんどん日本に入ってくる仕組み=TPP。狂牛病、BSEなどの危険は今も続いている。世界の食料は不足気味、異常気象で、いつでも輸入できる保障はありません。TPPは止めるしかありません。

なぜマスコミは  
TPP参加応援なのか?

自給率40%→13%へ

自分の国の食料を自給するのはあたり前のこと。農業生産高全国3位の千葉県でも、農業・農村が大打撃をうけ、地域経済が成り立たなくなります。TPPと農業発展の両立は不可能なのです。

テレビでは評論家の先生方が「日本の農産物は競争に勝てる」「輸出できる強い農業にしていくべきだ」などと言っています。しかし、全国31の都府県、1115もの地方議会が反対・見直しなどの意見書を可決しています。TPPはアメリカの要求で日本の経済を一層苦しくすることがはっきりしています。

## TPPは開国ではなく壊国

■ TPPは、農林水産物だけでなく、地場産業や中小企業が抱ってきた繊維、皮革、履物などなどに関連する安全基準や、規格・基準など非関税障壁といわれる規制も取り扱うことが入っています。

■ 一部の輸出企業の利益にはなつても、食や健康、雇用、地域経済、国民の暮らしが壊され、日本が一層「強いものだけが生き残る」社会になっていくことは避けられません。

平成の開国という首相。しかし、日本は鎖国などしていません。TPP参加国と交渉中の国は併せて九ヶ国ですが、そのうち六ヶ国と日本はすでに二国間協定を結んでいます。残るのはアメリカ・オーストラリア・ニュージーランド、広大な農地で作る安い穀物と乳製品が流入して日本の酪農を壊します。